

(単元) 小説を楽しむ

(本時のねらい)

青少年の活字離れが叫ばれてから久しい。その対抗手段として有効なのは、気軽に読める作品を授業で取扱い、読書の楽しさを実感させることである。高校生活で触れてきた様々な作家や作品をもう一度調べ直すことで読書の幅を自ら広げる。学習を通して、多くの人々に読み継がれてきた近代小説の名作や現代の映像化されている小説などに触れ、気軽に楽しめる読書のあり方を伝えたい。

(ICT活用方法)

今まで学習してきた作家と作品を思い起こし、今後の読書活動に役立てるため、インターネットを用いて作家名と作品名を調べ、一覧表を作成する。授業支援クラウドアプリを使って作成した表を発表する。従来は国語便覧等を使用して調べていたが、情報が不足することもあったので、様々な作家の顔写真と作品について知り、クラスメイトに知ってもらいたい作家と作品の映像を合わせて紹介することで、読書がより身近なものとして感じられる。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 5分	・前時の進捗状況を確認する。	・モニターで各生徒の活動状況を確認する。	・1人1台端末 ・授業支援クラウドアプリを使用する。
展開 30分	・電子黒板を使用して発表の練習をする。 ・発表する。	・電子黒板の使用方法を示す。 ・発表者や質問者が発言しやすい雰囲気をつくる。	・電子黒板と1人1台端末を使用する。 ・発表時の説明に従って縮小拡大したり映像化された作品を提示したりする。
まとめ 5分	・発表について自己評価を行う。	・自己評価シートへの記入を促しモニターで各生徒の記入状況を確認する。	・1人1台端末 ・授業支援クラウドアプリで自己評価シートを配付する。

20103 現代文 A_2_個別_小説を楽しむ

(授業の様子)



発表風景



調べ学習



使用したワークシート

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

生徒同士の意見交換が容易にでき，発表を楽しんで行うことができた。時間があればプレゼンテーションソフトを活用し，より興味を持って発表準備ができたのではないか。今回は自己評価のみであったが，相互評価が行えれば良かった。